

第4次厚真町総合計画 実施計画シート

事業名	起業家人材育成事業	担当課		担当グループ		作成者（職・氏名）		実施計画年度（期間）		事業評価対象年度	
		2	まちづくり推進課	22	政策推進グループ	主査・小松美香		R 6 年度（ R6 ～ R8 ）		R 5 年度	

1 基本事項

事業区分	事業開始年度	平成 28 年度	事業主体		会計区分		予算科目					
	事業終了年度	令和 7 年度	1	町	1	一般	款	項	目	事業 1	事業 2	性質別経費
							7	1	3	1271	001	10
事業の性質	法令に基づかない自主的事業									条例等の有無		無
根拠法令・例規計画等	厚真町地域おこし企業人設置要綱等											
総合計画	基本目標	3	みのり豊かなあつま									
	基本施策	12	商工業の振興									
	施策項目	122	起業・新分野への進出と6次産業化への支援									
	復旧・復興計画	21	なりわい（仕事）の再生・産業基盤の復旧									
	総合戦略	11	（しごと）町の資源を生かす持続可能な事業・産業の創出									
	厚真町強化計画	5112	新たな産業の創出と雇用機会の拡大									
政策展開方針 （R2～R6）	大項目	3	育成と挑戦									
	中項目	5	次世代の育成と教育環境の充実									
	施策項目	3502	地域おこし協力隊、地域おこし企業人などの招聘									

2 事業概要（Plan）

事業の目的	活力ある地域創出に向け、厚真町では（１）人材の誘致と育成、（２）産業創出、（３）関係人口の創出を一体的に進める。それにより、移住者だけでなく既存の町民も参加し持続的に挑戦する町民文化を育み、人が人を呼ぶ循環型社会を創出することを目的とする。
事業の内容（手段・方法等）	①起業家人材等育成支援団体がハブとなり実施する自治体広域連携による「ローカルベンチャー」推進事業 ・ローカルリーダーズミーティングで地域課題解決の先進事例について学ぶ ・森林再生事業、森林に関わる事業者によりロジックモデルを作成 ②厚真町ローカルベンチャースクールの企画運営と広報活動 ③地域メディアによる情報発信事業（HPあつまのおと） ④ふるさと納税者も含めた関係人口創出 ・大学生のイベント支援や農繁期の手伝い ・起業家の研修ツアー、森林事業者と森を巡るツアー
対 象	①移住検討者②ふるさと納税者③地域おこし協力隊及び町内起業家 ④事業拡大を望む町内事業者⑤厚真町もしくは地域の活動に興味を持つ者
成果目標	10年間（平成28～令和7年度の累計）で新規起業数45社

3 実施結果（Do）

① 事業費

単位：千円

事業費の推移		H28（前期1）	H29（前期2）	H30（前期3）	R1（前期4）	R2（前期5）	R3（後期1）	R4（後期2）	R5（後期3）	R6（後期4）	R7（後期5）
		決算→決算見込み→予算→計画	決算→決算見込み→予算→計画	決算→決算見込み→予算→計画	決算→決算見込み→予算→計画	決算→決算見込み→予算→計画	決算	決算	決算	決算見込み	計画
事業費							42,328	42,416	42,425	42,569	
特定財源	国支出金						21,100	21,065	21,065	21,000	
	道支出金										
	町債										
	その他										
一般財源							21,228	21,351	21,360	21,569	
人件費（※4,000+時間給）							1,788	1,788	1,788	1,788	
積算根拠							○職員旅費 128千円 ○LV推進事業委託料 35,200千円 ○LV推進協議会負担金 7,000千円	○職員旅費 286千円 ○LV推進事業委託料 34,430千円 ○LV推進協議会負担金 7,700千円	○職員旅費 295千円 ○LV推進事業委託料 34,430千円 ○LV推進協議会負担金 7,700千円	○職員旅費 500千円 ○LV推進事業委託料 35,000千円 ○LV推進協議会負担金 7,700千円	
主な年次計画（取組）							○ローカルベンチャースクール運営 ○基盤整備事業 ○関係人口創出事業 ○情報発信事業 ○ローカルベンチャー推進協議会	○ローカルベンチャースクール運営 ○基盤整備事業 ○関係人口創出事業 ○情報発信事業 ○ローカルベンチャー推進協議会	○ローカルベンチャースクール運営 ○基盤整備事業 ○関係人口創出事業 ○情報発信事業 ○ローカルベンチャー推進協議会	○ローカルベンチャースクール運営 ○基盤整備事業 ○関係人口創出事業 ○情報発信事業 ○ローカルベンチャー推進協議会	
ヒアリング指示事項 ※企画調整G記入欄											

② 実績・成果

指 標 名 称 (前 期)			H28 (前期1)		H29 (前期2)		H30 (前期3)		R1 (前期4)		R2 (前期5)		R3 (後期1)		R4 (後期2)		R5 (後期3)		R6 (後期4)		R7 (後期5)	
			数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位
主な活動指標	ローカルベンチャースクール応募者数	目 標	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人
		実 績	6	人	21	人	15	人	8	人	9	人	15	人	12	人	16	人	17	人		人
		達成度	60.0	%	210.0	%	150.0	%	80.0	%	90.0	%	150.0	%	120.0	%	160.0	%	170.0	%	—	%
	※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する ローカルベンチャースクール採択者数（起業型地域おこし協力隊の翌年度委嘱者数）のうち町内を拠点に事業継続中の人数（R6.12現在）		2人		1人		2人		4人		0人		2人		2人		3人（合計16人）					
主な成果指標	新規事業体数（起業数）	目 標	3	社	3	社	3	社	3	社	3	社	6	社	6	社	6	社	6	社	6	社
		実 績		社	4	社	5	社	6	社	3	社	5	社	6	社	6	社		社		社
		達成度	—	%	130.0	%	170.0	%	200.0	%	100.0	%	80.0	%	100.0	%	100.0	%	—	%	—	%
	※数値化できない成果や指標の変更等について記載する ローカルベンチャースクール採択者（起業型地域おこし協力隊の翌年度委嘱者）による売上実績				17,500千円		31,100千円		40,000千円		41,000千円		43,820千円		71,650千円		73,230千円		179,141千円			

4 事業の評価（Check）

評価項目	評価の視点	評価結果	説 明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か？	A	総合戦略の目的に則して、町内外の方を対象として人材育成していることから公平かつ妥当。複数のアプローチ手段及び目標を持つ事業を一体的に取り組むことで相乗効果が生まれている。また十分な知見を持った事業者へ委託ができています。
有効性	期待された成果が得られたか？	A	本事業の継続により地域内の起業家人材の層が厚くなり、起業家同士による連携事業も起き、また起業家が事業を拡大し雇用を生むなど町内経済にもインパクトが出始めている。一方で、町民のローカルベンチャースクール参加、過去参加者等からの口コミによる参加など事業が認知されてきている。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か？	A	ローカルベンチャー育成・誘致、情報発信、関係人口創出、町内向けの講演会等の開催を一括して実施することで、各事業間の相乗効果を生んでおり費用対効果は適正である。全国6自治体で構成するローカルベンチャー協議会については、町の課題にフォーカスした取組みを進めることができ一定の成果があった。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等（Action）

予算	継続（現状維持）	サービス	継続（現状維持）	方向性	現状維持
理由	新規事業創出に貢献しており、新規事業による雇用が生まれ始めていることから今後も必要な事業。課題であった町内の理解を得ることについては、令和6年度において、委託事業者と協議しながら情報発信及び交流の機会創出を行う等、事業の軌道修正を繰り返しながら進めていく。				
課題および改善提案	町内に起業家が育ち、それに伴い町外からの関係人口が増えてきていることから、起業家人材の誘致・育成の局面が変わってきている。以下の項目について継続して検討し、現在の局面に合わせた事業展開をしていく。 ・ローカルベンチャースクールの継続に向けたプログラムの検討及び関われる職員の育成 ・事業の継続及び雇用創出に向けた事業支援 ・町民に向けた情報発信による起業家への共感と応援者の拡大 ・移住定住推進・関係人口創出・二地域居住施策との連携による、自由なワークスタイルによる町内を拠点とした人材への支援				

※予算・サービスは「継続（拡大・現状維持・縮小）」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択する。

6 内部評価（本欄は、内部評価委員会を使用するため事業担当課は入力しないでください。）

予算	継続（現状維持）	サービス	継続（現状維持）	方向性	現状維持	意見	特になし
----	----------	------	----------	-----	------	----	------

7 外部評価（本欄は、外部評価委員会を使用するため事業担当課は入力しないでください。）

評価実施年月日	R 7 年 1 月 28 日	予算	継続（現状維持）	サービス	継続（現状維持）	方向性	現状維持
付帯意見（全体意見）	○人材育成と事業創出に資する取組により、暮らし、福祉、雇用といった多方面での好影響が出始めている事業である。 ▶以上より、予算・サービス・方向性を現状維持のうえ、事業を継続することが望ましい。						
その他意見（個別意見）	○現行の交付金制度が終了した後の本事業の推進体制について、早期に見通しを立てることが望ましい。						

8 外部評価に対する町の考え方

回答年月日	R 7 年 3 月 6 日
○多方面への好影響を生むことを継続するために、本事業の質を維持し、変化していく状況に合わせて進めてまいります。 また、町民からの本事業への理解を進めるだけでなく、職員の理解を深めることにより町全体で挑戦者を応援する風土を醸成し、さらなる波及効果を狙いたいと考えている。委託事業者との協議により、事業の方向性を確認し、質の維持・向上を図って参ります。	
○令和6年度に続き、7年度も、ローカルベンチャー協議会の今後の方針や財源について、参加自治体と検討を行っているが、町としての方針を示したうえで、他市町村と連携を検討しております。 ローカルベンチャー等推進事業は、事業を組みなおすことも想定して推進体制及び交付金の申請の検討をしてまいります。	